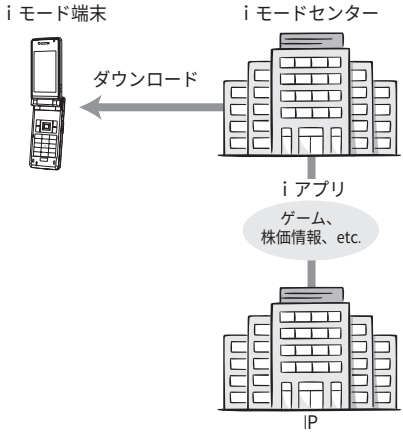
iアプリ

- iアプリとは ..... ＜iアプリ＞252
- iアプリDXとは 252
- サイトからiアプリをダウンロードする ..... ＜ダウンロード＞253
- iアプリを実行する ..... ＜iアプリ実行＞254
- iアプリを自動実行する ..... ＜自動起動設定＞260
- サイトやiモードメールからiアプリを実行する ..... ＜iアプリTo機能＞261
- iアプリ待受画面を設定する ..... ＜iアプリ待受設定＞262
- iアプリを管理する 263
- microSDメモリーカード内のiアプリ使用データを表示する ..... ＜iアプリ使用データ（コンテンツ移行対応）＞264
- iアプリのさまざまな機能を利用する 265

iアプリとは

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード対応FOMA端末(以下、iモード端末)をより便利に活用いただけます。たとえば、iモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。
さらに、地図のiアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、iアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるiアプリもあります。



- iアプリをダウンロードするには☞P.253
- iアプリを実行するには☞P.254
- iアプリを自動実行するには☞P.260
- ソフトによっては、iモード端末の携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を利用する場合があります。
- ソフトによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

登録データを利用する

iアプリのソフトには、お客様のiモード端末の登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報、トルカ)を参照、登録、操作ができるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- ブックマーク登録
- データBOXからの画像取得
- トルカの新規登録
- アイコン情報利用
- スケジュール登録
- データBOXへの画像保存
- microSDメモリーカードの利用

iアプリDXとは

iアプリDXでは、iモード端末の情報(メールや発着信履歴、電話帳データなど)と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、iアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

登録データを利用する

iアプリDXのソフトでは、通常のiアプリで利用できる登録データ(電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報、トルカ)に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- スケジュール登録
- iモードメール作成画面利用
- 最新の着信履歴参照
- 着信音保存
- データBOXからの画像取得
- 画面設定の変更(待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR／F受信)
- 電話帳参照
- ブックマーク登録
- メールメニューの利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更(電話、メール、メッセージR／F)
- データBOXへの画像保存
- トルカの新規登録、選択・取得
- microSDメモリーカードの利用

- iアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- iアプリDXを起動するには日付・時刻設定が必要です。

メール連動型iアプリとは

メール連動型iアプリは、iアプリDXの一種で、iモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応iアプリとは

おサイフケータイ対応iアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応iアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP(情報サービス提供者)などにICカード内の情報が送信されます。
- おサイフケータイとは(☞P.268)

GPS対応ｉアプリとは

GPS対応ｉアプリでは、GPS機能を利用することにより、現在地のタウン情報などがより簡単に探せたり、地図上に自分の現在地を表示させ目的地までのナビゲーションができるなど、便利な機能がご利用いただけます。

- GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリの情報提供者に位置情報が送信されます。
- GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリの位置情報利用設定を[利用する]に設定する必要があります。

こんなこともできます

ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面では、ｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。
(☞P.262)

- ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。
(☞P.260)

カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。(☞P.265)

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動して、より広がった使いかたができます。(☞P.266)

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。たとえばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます。(☞P.334)

- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

バーコードリーダー

ソフトからｉモード端末のカメラを使ってバーコード(JANコード、QRコード)を読み取ることができます。(☞P.265)

ダウンロード

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからｉアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末のディスプレイ上で実行できます。

- ソフトは最大100件まで保存できます。(ソフトのサイズによって、保存できる件数が変わります。)

1 サイト(☞P.188の操作1～3)やインターネットホームページ(☞P.193の操作1～2)を表示中に、ソフトを選んで●を押す。

- ｉアプリダウンロード中画面が表示され、ダウンロードが開始されます。

登録データ、携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号やmicroSDメモリーカードを利用するソフトのとき	ダウンロードの確認画面で[はい]→● ● 登録データの一覧を確認するときは▮[登録データ]を押します。
位置情報を利用するソフトのとき	ダウンロードの確認画面で[はい]→●
[ソフトを起動しますか？]が表示されたとき	[はい]→● ● ダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトは、ダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト終了後に、保存可能なソフトについては、保存するかどうかを選択できます。
FOMA端末(本体)のメモリの空き容量が不足しているとき	[メモリが不足しているか保存可能件数を超えました　上書きしますか？]→[はい]→●→ソフトを選ぶ●(くり返し可)→▮
ダウンロードを中止するとき	[ダウンロード中]表示中に、▮

- 別のFOMAカードを使用してダウンロード済みのときは、[異なるFOMAカード(UIM)でダウンロード済みです　ソフトを上書きしますか？]と表示されます。[はい]を選んで●を押すと、上書きされます。ただし、おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトの場合は、上書きできません。
- ソフトによっては、ダウンロード完了後にｉアプリ設定(待受画面設定、通信設定、位置情報利用設定)の画面が表示されることがあります。必要な項目の設定が終わったら、▮[完了]を押します。

お知らせ

- 電波状況などによりダウンロードが失敗した場合、途中までダウンロードしたデータを保存しておき、ソフト一覧から残りのデータをダウンロードすることができます。(☞P.254)
- ダウンロード時にメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除したあとで、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- **通信設定**を[通信しない]に設定すると、情報提供できない場合がありますので、ご注意ください。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- SSL対応のページからｉアプリの情報やｉアプリをダウンロード中は、[SSL]が表示されます。
- ｉアプリのソフトによっては、ダウンロードをしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するにはあらかじめFOMA端末での設定が必要です。
- ｉアプリの**機能別ロック**中に、ｉアプリダウンロードを行うと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると、機能別ロックは一時解除され、ダウンロードできます。

選択したソフトがすでに**FOMA**端末に保存されているとき

- ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、ダウンロード(バージョンアップ)が開始されます。

おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードができないとき

- ＩＣカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。(ダウンロードするソフトによって一部のソフトが削除対象とならない場合があります。)ソフトによってはお客様がソフトを起動して、ＩＣカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- **ＩＣカードロック**中は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。

メモリエリアについて

- **データBOX**とｉアプリのエリアを共有しています。データBOXに保存されているデータのデータ量によっては、ｉアプリのソフトが保存できない場合があります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

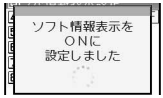
- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、受信BOX、送信BOX、未送信BOXにメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更できません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダは、最大５個保存可能です。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、フォルダを利用できます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。新規フォルダを作成しない場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリを残したままで、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダは削除できません。ソフトがない場合はフォルダを削除できますが、受信BOX、送信BOX、未送信BOXに作成されたフォルダがまとめて削除されます。
- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたフォルダを同時に削除するかどうかを選択することができます。ただし、フォルダ内に保護されているメールがある場合はメール連動型ｉアプリおよびフォルダを削除できません。フォルダのみを残した場合は、受信BOX、送信BOX、未送信BOXでフォルダにカーソルを合わせて●を押し、[ｉモードメール閲覧]を選んで●を押すと、メール本文を確認することができます。
- メールの機能別ロック中(☞P.154)は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メールの機能別ロック中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリは、ダウンロードしたりバージョンアップできません。
- メールの機能別ロック中、新規メールフォルダを作成するメール連動型ｉアプリはダウンロードできません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る<ソフト情報表示設定>

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で▼(ｉ)を１秒以上押して3[ソフト情報表示設定]を押し、1[**ON**]を押す。

- ダウンロードを開始すると、ソフト情報が表示されます。



ｉアプリ実行

ｉアプリを実行する

- ソフトによっては、起動したときに自動的に通信するものがあります。あらかじめ通信設定(☞P.255)で通信しないようにしたり、起動するたびに接続するかどうかを確認するよう設定できます。

1 待受画面で▼(ｉ)を１秒以上押す。

- 待受画面で▼(ｉ)を２回押してもｉアプリ画面が表示されます。
- おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトのみを表示するときは、待受画面で●9241を押してＩＣカード一覧を選択します。
- GPS対応ｉアプリのソフトのみを表示するときは、待受画面で●92721を押します。

2 1[ソフト一覧]を押す。

- FOMA端末に保存されているソフトのタイトルが表示されます。
- 選択しているソフトの設定状態によって、次のマークが表示されます。

ソフト一覧画面

マークの意味

- α：ｉアプリ待受画面の機能を持ったソフト
- 自：自動起動の機能を持ったソフト
- SSL：SSL通信でダウンロードしたソフト
- DX：ｉアプリDXのソフト
- メール：メール連動型ｉアプリのソフト
- α：ｉアプリ待受画面に設定されているソフト

：自動起動が設定されているソフト
：通信する機能を持ったソフト
：ｉアプリ使用データをmicroSDメモリーカードに保存できるソフト
：FOMAカード動作制限が設定されているソフト
：おサイフケータイ対応ｉアプリのソフト
：GPS対応ｉアプリのソフト
：途中までダウンロードしたソフト
：ｉCお引っこしサービスを利用して移し替えたあとのソフト（P.268）

3 実行するソフトを選んで●を押す。

- ｉアプリ起動中画面が表示され、ソフトが起動します。
- 途中までダウンロードしたソフトの場合、[データが不足しています　残り全てをダウンロードしますか？]と表示されます。[はい]を選んで●を押すと、ダウンロードを開始します。
- GPS対応ｉアプリのソフトの場合、位置情報を利用するかどうかの確認画面が表示されることがあります。[はい]を選んで●を押すと起動します。
- ソフトを終了するときは、ソフト実行中に☎を押し、[はい]を選んで●を押します。
- ｉCお引っこしサービスを利用して移し替えたソフトをＩＣカード一覧から選んだ場合、[ソフトをダウンロードしますか？]、または[ソフトをダウンロードするためにサイト接続しますか？]と表示されます。[はい]を選んで●を押すとソフトのダウンロードを開始、またはサイトに接続します。

お知らせ

- ｉアプリのダウンロード時に使用したFOMAカードと同じFOMAカードを挿入していないと実行（起動）できないｉアプリがあります。
- ソフト実行中に**スケジュール**や**アラーム**の時刻になると、ソフトは中断され、スケジュールやアラームの通知画面が表示されます。スケジュールやアラームの通知画面を終了すると再開されます。ｉアプリのソフトによっては、アラームが動作したときにソフトを終了するものもあります。
- メール連動型ｉアプリは、**受信BOX**、**送信BOX**、**未送信BOX**からも起動できます。各フォルダ一覧からｉアプリメール用フォルダを選択してください。
- ｉアプリによっては、起動時にソフトのバージョンが更新されていた場合に、確認画面が表示されバージョンアップできます。
- 3Dポリゴンエンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  3Dポリゴンは、多角形（三角形や四角形など）を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ソフト実行中に通信回数が多くなると、[ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？]と表示され、通信を行うかどうかを選択できます。

お知らせ

- ｉアプリのソフトによっては、ｉアプリ使用データをmicroSDメモリーカードに保存できるものがあります。保存したｉアプリ使用データは、ｉアプリ使用データ一覧で確認できます。また、ｉアプリ使用データを利用するソフトは、ｉアプリ使用データの情報表示で確認できます。（P.264）
- ｉアプリ使用データの保存・削除中に、microSDメモリーカードや電池パックを抜くと、ｉアプリ使用データを参照できなくなる場合があります。その場合は、microSDメモリーカードをFOMA SH903iでフォーマットしてください。（フォーマットを行うと、microSDメモリーカード内のデータはすべて消去されます。）
- microSDメモリーカードに保存したデータは、他の機種で利用できない場合があります。
- 同時に起動している他の機能がmicroSDメモリーカードを使用している場合は、ｉアプリからmicroSDメモリーカードの読み書きをすることができない場合があります。

ｉアプリ**DX**を起動するとき

- ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するために**通信設定**にかかわらず通信するものがあります。（通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります。）
- 日付・時刻を正しく設定していないときは、有効性の確認は実行されずソフトは起動できません。
- ソフトが無効になった場合、有効性を確認できるまではソフトを起動できません。

関連操作

ショートカットメニューから起動する
待受画面で○▶ソフトを選ぶ▶●

音量を調節する＜ｉアプリ音量設定＞
待受画面で1（1秒以上）▶2▶○（上げる）／.（下げる）▶●

ソフトの情報を表示する＜ソフト情報表示＞
ソフト一覧画面でソフトを選ぶ▶ 1

関連操作のお知らせ

ショートカットメニューについて

- よく使うｉアプリのソフトなどを、あらかじめ登録しておく必要があります。（P.377）
- 待受画面にカレンダーが表示されているときは、☎を押しカレンダー表示を解除してから操作してください。

ｉアプリ音量設定について

- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。

ソフト情報表示について

- 表示される情報はソフト名、バージョン、ソフト提供、ソフト保存領域、プロファイルバージョン、対応機種、自動起動の時間間隔、SSL接続などです。
- 表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。

通信を行うかどうかを設定する＜通信設定＞

ｉアプリ実行中に通信を行ってもよいかどうかを、ソフトごとに設定します。

- ここでの設定は通信を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[通信する]に設定されています。

次ページへ続く▶▶

1 ソフト一覧画面(☞P.254)でソフトを選んで6[ソフト利用設定]を押す。

2 [通信設定]を選んで●を押し、通信するかどうかを選ぶ。

通信する	1
通信しない	2
iアプリが起動するたびに確認する	3

3 [完了]を押す。

お知らせ

- 通信設定を[通信しない]に設定すると、動作しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合があります。また、起動しないソフトもありますので、ご注意ください。
- iアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由して送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。(「iアプリで利用する画像」とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した画像、起動中のiアプリから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからデータBOXを参照して取得した画像です。)

アイコン情報通知を許可するかどうかを設定する<アイコン情報設定>

iアプリ実行中、未読のメール・メッセージR/Fの有無、電池残量、圏内・圏外情報、マナーモードの設定状態などのアイコンの有無を、ソフトへ通知してもよいかどうかをソフトごとに設定します。

- ここでの設定はアイコン情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[利用する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.254)でソフトを選んで6[ソフト利用設定]を押す。

2 [アイコン情報設定]を選んで●を押し、1[利用する]を押す。

3 [完了]を押す。

お知らせ

- アイコン情報が必要なソフトの場合、[利用しない]に設定すると動作しないことがあります。
- アイコン情報設定を[利用する]に設定すると、未読のメール・メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話/FOMAカード(UIM)の製造番号」と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信される場合があるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

電話帳や履歴の参照を許可するかどうかを設定する<電話帳/履歴参照>

iアプリには、電話帳、リダイヤルや着信履歴の参照を許可するかどうかを設定できるものがあります。[許可する]に設定した場合、iアプリから電話帳、リダイヤルや着信履歴を自動的に参照できます。

- ここでの設定は電話帳や履歴情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- ソフトのダウンロード時は、[許可する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.254)でソフトを選んで6[ソフト利用設定]を押す。

2 [ソフトからの電話帳/履歴参照を]を選んで●を押し、1[許可する]を押す。

3 [完了]を押す。

お知らせ

- [許可しない]に設定すると、ソフトによっては利用できないものもありますので、ご注意ください。

着信音や画面の変更を許可するかどうかを設定する<着信音/画像変更>

iアプリには、着信音や画面の変更を許可するかどうか、また、変更時に確認画面を表示するかどうかを設定できるものがあります。[許可する]に設定した場合、iアプリから着信音や画面を自動的に変更できます。

- ソフトのダウンロード時は、[許可する]・[表示しない]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.254)でソフトを選んで 6[ソフト利用設定]を押す。

2 [ソフトからの着信音/画像/メニューアイコン変更を]を選んで●を押し、1[許可する]を押す。
- 変更を許可しないときは、2を押し、操作4に進みます。

3 [変更ごとに確認画面を]を選んで●を押し、1[表示する]を押す。
- 確認画面を表示しないときは、2を押します。

4 [完了]を押す。

位置情報を利用するかどうかを設定する<位置情報利用設定>

GPS対応ｉアプリで位置情報を利用するかどうかを設定します。

- ソフトのダウンロード時は[利用する]に設定されています。

1 ソフト一覧画面(☞P.254)でソフトを選んで6[ソフト利用設定]を押す。

2 [位置情報利用設定]を選んで●を押し、1[利用する]を押す。

3 [完了]を押す。

ソフトから他のソフトを起動する

ソフトによっては、他のソフトを起動できるものがあり、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。

- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択します。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていない場合は、ダウンロードする必要があります。

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には、以下のソフトが登録されています。

- ■ モンスターハンターｉ for SH
- ■ NAVITIME for SH
- ■ ケータイクレジット「iD(アイディ)」
- ■ DCMXクレジットアプリ
- ■ デコメ絵文字ポケット
- ■ Gガイド番組表リモコン

- お買い上げ時に登録されているソフトを削除後にもう一度ご利用になる場合、ｉMenu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます。
  [ｉMenu]→[メニュー／検索]→[ケータイ電話メーカー]→[SH-MODE]

サイト接続用QRコード

■ モンスターハンターｉfor SH

大画面(QVGA対応)で独創的で完成度の高いグラフィック、また自由度のあるゲームデザインが好評のハンティングアクションゲームです。
モンスターを狩る「ハンター」として、ココット村の村長や村人から依頼されるクエストに従って、ゲームを進めて行きます。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧で[モンスターハンターｉfor SH]を選んで●を押す。

- ソフトが起動し、タイトル画面が表示されます。

2 [ゲームスタート]を選んで●を押す。

- [オプション]を選ぶと、ゲーム中の音、振動、セーブ機能、ボタンの操作設定などを行うことができます。

ココット村画面について

村長や村人のクエストに従って、クエストレベルからクエストを選択する。

- 受注できるクエストは、ハンターランク(ＨＲ)で決められています。
- ハンターランクが高いほど、より難度が高いクエストが受注可能です。
- 緊急クエストが表示されたときは、緊急クエストをクリアすることで、次のランクのクエストを受注することができます。

フィールド画面について

選択したクエストによりフィールド画面に移動します。クエストの内容は、キノコの調達などの「採集クエスト」、モンスターを狩る「討伐クエスト」、モンスターを捕獲する「捕獲クエスト」があります。

- フィールドを進みながら、いろいろな素材を入手します。
- モンスターとの戦いで、倒したモンスターに応じて素材が入手できます。

戦闘中の画面について

©CAPCOM 2006

タイマー　：残り時間。白い針が橙の針に来るとタイムオーバーです。
モンスター名：モンスター名、モンスターの体力。すべてのモンスターの体力がなくなると戦闘が終了します。
体力　：ハンターの体力。体力がなくなると戦闘が終了します。
スタミナ　：ハンターのスタミナ。ガードや緊急回避、ダッシュを行うと減少します。

メニューの内容

マップ　：フィールド画面での地図を表示
クエスト確認　：進行中のクエストを確認
調合リスト　：調合に成功したアイテムを確認できます。
ステータス　：ハンターの詳細を表示
装備確認　：所持している装備の詳細を表示
オプション　：ゲーム中の音、振動、セーブ機能、ボタンの操作設定などを設定
クエストリタイア：現在進行中のクエストを中止
セーブ　：現在進行中のクエストを保存

次ページへ続く▶▶

ボタン操作について

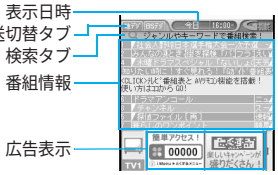
ボタン	ココット村画面	フィールド画面	戦闘画面
[▲▼◀▶]	カーソル、キャラクタの移動 ● ボタンを押した方向に、カーソルやキャラクタが移動します。 ● フィールド画面と戦闘画面で、[▲▼◀▶]を同方向に2回連続して押すと、ボタンを押した方向に緊急回避をします。		
[●]	各施設のメニューを開く	アクションの実行	攻撃
[i]	メニュー画面を開く／閉じる アイテム画面を閉じる		
[📷]	アイテム画面を開く		
[4]	—	カメラ左回転	
[5]	—	カメラ正面合せ	
[6]	—	カメラ右回転	
[8]	—	—	攻撃
[9]	—	—	特殊攻撃
[0]	—	—	ガード
[#]	—	ダッシュ	

NAVITIME for SH

SH903iに搭載されているGPS機能(P.278)を利用して、目的地を検索したり、交通手段によるルートを表示したりすることができる便利アプリです。

● 「NAVITIME for SH」の操作方法については、P.279「GPS対応iアプリを利用する」を参照してください。

Gガイド番組表リモコン



メイン画面

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。

いつでもどこでも知りたい地上アナログもしくは地上デジタルのテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。

気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約することもできます。(リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。)

さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレーヤのリモコン操作ができます。(一部対応していない機種もあります。)

※ リモコンの操作時の注意事項については、P.334「赤外線リモコン機能を利用する」を参照してください。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

※ はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。

※ 海外でのご利用時は、携帯電話の時間設定を日本時間に合わせてください。

※ 別途パケット通信料がかかります。

※ 詳しくは、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

ソフトを起動する

1 ソフト一覧画面で[Gガイド番組表リモコン]を選んで[●]を押す。
- ソフトが起動し、メイン画面が表示されます。
- 初回起動時は、初期設定画面が表示されます。

2 郵便番号、生まれた年、性別を入力する。

3 番組表設定で[地上デジタル]または[地上アナログ]を選んで[●]を押す。

4 [📷][設定]を押す。
- 利用規約画面が表示されます。

5 規約に同意するときは、[はい]を選んで[●]を押す。
- 通信後、メイン画面とお知らせが表示されます。

番組情報の表示

● 地上波とBS波を切り替える

メイン画面で[▲▼]を押し最上位の放送切替タブを選び、[◀▶]で放送波を切り替えます。

- BSデジタルに切り替えた場合に、視聴チャンネルを設定していないときは、お知らせが表示されます。[📷][設定]を押し、視聴チャンネルを設定してください。

● 番組情報を切り替える

メイン画面には番組情報や広告が表示されます。番組情報の部分を選択しているときに、[▲▼]を押すとチャンネルを選択できます。[◀▶]を押すと、時間帯を切り替えられます。[●]を押すと番組情報が表示されます。このとき、リモコン登録およびリモコンチャンネル設定がされている場合は、赤外線送信されます。

● メイン画面での共通操作

使い方画面を表示する	[i] ● リモコンの設定をしていない場合は表示できません。
メニューを表示する	[📷]
予約リストに登録する(地上アナログのみ)	[#] ● 登録を取り消すときも、同じボタンを押します。
リモコンを切り替える(TV1→TV2→ビデオ→DVDの順)	[0]
リモート録画予約する	[✕]

● 広告表示での操作

広告部分を選択すると、登録されている文字情報が吹き出しで表示されます。[●]を押すと、広告に設定されている機能(Phone To機能、Mail To機能、Web To機能)を起動できる場合があります。

日時を指定して番組表を表示する

1 メイン画面で[メニュー]を押し、[日時指定]を選んで●を押す。

2 表示日を選択して●を押し、表示時刻を選択して●を押す。

3 [表示]を押す。

- 番組表が表示されます。
  [サーバから番組データを取得します]と表示されたときは、[YES]を選んで●を押すと、番組情報を取得します。

キーワードで番組を検索する

1 メイン画面で:を押し検索タブを選ぶ。

2 ・で[キーワード]を選んで●を押し、検索する日付を選んで、キーワードを入力するか、検索履歴から選択して●を押す。

- ジャンルで検索するときは、・で[ジャンル]を選んで●を押し、検索する日付とジャンルを選んで・を押し、サブジャンルを選んで●を押します。

3 ・で[検索]を選んで●を押し、[YES]を選んで●を押す。

- 検索結果画面で●を押して番組情報を表示したり、予約リスト(地上アナログのみ)に登録することができます。

リモート録画予約について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

- 初期設定の方法

1 DVDレコーダーにインターネット接続の設定をする。

- ご利用のDVDレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

2 メイン画面で[メニュー]を押し、[リモート録画予約]を選んで●を押す。

- ガイダンスに従って初期設定を進めてください。

- 番組予約の方法

初期設定が完了したあと、お好きな番組を指定してメニューから[リモート録画予約]を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。

※ すでに同じ時間に予約されている場合は、番組表にメッセージが表示されます。

※ 別途パケット通信料がかかります。

関連操作

番組詳細情報を表示する
メイン画面で[メニュー]▶[番組詳細]▶●

予約リスト一覧を表示する(地上アナログのみ)
メイン画面で[メニュー]▶[赤外線予約]▶●▶[予約リスト]▶●

視聴チャンネルの設定を行う
メイン画面で[メニュー]▶[更新・設定]▶●▶[視聴チャンネル]▶●▶チャンネルを選ぶ●(くり返し可)▶[メニュー]▶●

リモコン登録を行う
メイン画面で[メニュー]▶[更新・設定]▶●▶[リモコン登録]▶●▶登録する機器を選ぶ●登録機器のメーカーを選ぶ[メニュー]●(くり返し可)

リセットする
メイン画面で[メニュー]▶[更新・設定]▶●▶[リセット]▶●▶●▶[YES]▶●▶●

リモコンチャンネルの設定を行う
メイン画面で[メニュー]▶[更新・設定]▶●▶[リモコンチャンネル設定]▶●▶チャンネルを選ぶ▶[メニュー]▶●

ジャンル色分設定を行う
メイン画面で[メニュー]▶[更新・設定]▶●▶[ジャンル色分設定]▶●▶ジャンルを選ぶ▶●▶サブジャンルを選ぶ▶●▶色を選ぶ▶●▶[メニュー]▶●

最新の番組表に更新する
メイン画面で[メニュー]▶[更新・設定]▶●▶[最新に更新]▶●▶[YES]▶●▶●

■ デコメ絵文字ポケット

「デコメ絵文字ポケット」は、903iから便利に使えるようになったiモードメール上で絵文字のように使えるデコメ絵文字を、簡単に検索、保存ができるデコメ絵文字専用のiアプリです。情報サービス提供者から提供されるデコメ絵文字を、「カテゴリ」や「イラスト・キャラクタ」などのテーマから探すことができ、簡単に携帯電話機に保存することができます。

また、複数のデコメ絵文字を一括して保存することもできます。お気に入りのデコメ絵文字を見つけたら、その画像を提供するサイトの紹介文をご覧いただけ、サイトへアクセスすることもできます。

- 「デコメ絵文字ポケット」の月額情報料は無料です。IP(情報サービス提供者)が提供するサイトをご覧になる場合には別途iモード情報料がかかる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。詳しくは、『ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)』をご覧ください。

■ ケータイクレジット「iD(アイディ)」

ケータイクレジット「iD(アイディ)」とは、おサイフケータイをかざすだけで買い物やキャッシングのできるクレジットサービスです。今までのようにカードを財布から出したり、サインしたりすることなく、カンタン便利にショッピングができます。

次ページへ続く▶▶

- iDのご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みとiDアプリ、各カード発行会社提供のカードアプリが必要になります。
- iDアプリをはじめて起動される際は、「ご利用上の注意」に同意し、ご利用の準備を行ったあと、カードアプリのダウンロードを行う必要があります。
- iD対応のクレジットサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよび各カード発行会社のカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- iDに関する情報については、iDのｉモードサイトおよびホームページをご覧ください。

ｉモードサイト：[ｉMenu]→[メニュー／検索]→[ケータイクレジット「iD」]
ホームページ：http://id-credit.com

サイト接続用QRコード

DCMXクレジットアプリ

「DCMX」とは、「iD（アイディ）」に対応した、エヌ・ティ・ティ・ドコモ・グループが提供するクレジットサービスです。
DCMXには、月額１万円まで利用できるDCMX miniと、キャッシングやリボなどのサービスも充実し、クレジットカードも同時発行するDCMX、DCMX goldの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

アプリの機能

入会申込み・審査※1
↓
カード情報設定
↓

使う	確認する※2
面倒なチャージは不要！ 設定済ケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインなどすることなく、ショッピングが楽しめます。	当月のご利用可能残額やご利用明細もケータイから確認！
	変更する お使いのカードの更新および再発行の際にもアプリから設定可能！

※1　お申し込み時にオンラインで簡単な入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2　ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。
- サービス内容やお申し込み方法の詳細については下記を参照してください。

ｉモードサイト：[ｉMenu]→[メニュー／検索]→[DCMX（ケータイクレジット）]
ホームページ：http://www.dcmx.jp

サイト接続用QRコード

- 本サービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本アプリをはじめて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意のうえ、ご利用ください。
- 本アプリの利用にともないｉモード通信を利用する際は、パケット通信料がかかります。
- 申し込み・設定完了後は、本アプリからは起動できません。ご利用状況の確認や設定の変更などをご利用になる場合は、iDアプリを起動し、DCMXアプリを選択して連携起動してください。
- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。

お知らせ

- お買い上げ時、内蔵ｉアプリの各機能は次のように設定されています。
- ソフト一覧のサブメニューから設定を変更できます。

設定項目	お買い上げ時の設定					
	モンスターハンターｉ for SH	NAVI-TIME for SH	ケータイクレジット「ｉD（アイディ）」	DCMXクレジットアプリ	デコメ絵文字ポケット	Gガイド番組表リモコン
待受画面設定	―	―	―	―	―	―
通信設定	通信する					
ｉアプリTo設定	―	許可する			―	許可する
アイコン情報設定	―	―	―	―	―	―
着信音／画像変更	―	―	―	―	―	―
電話帳／履歴参照	―	許可する	―	―	―	―
位置情報利用設定	―	利用する	―	―	―	―

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意
- ＩＣカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

自動起動設定
ｉアプリを自動実行する

ｉアプリを自動起動する方法は３通りあります。
- あらかじめ、日時を正しく設定しておいてください。（☞P.45）

ｉアプリDXからの設定による自動起動	有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定します。
ソフト自体の機能による自動起動	あらかじめソフトに組み込まれている自動起動の動作です。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、自動起動するソフトを登録します。最大９件まで登録できます。
FOMA端末の設定による自動起動	FOMA端末に保存されているｉアプリに対して、時刻・日付・曜日を指定して自動起動を設定します。有効にするには、自動起動設定を[ON]に設定して、スケジュールを設定します。最大９件まで登録できます。

自動起動するかどうかを設定する ＜自動起動設定＞

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で▼(ｸﾘｱ)を1秒以上押して④[自動起動設定]を押す。

2 ①[ON]を押す。

自動起動設定画面

FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する

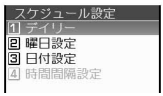
1 自動起動設定画面で③[詳細設定]を押し、番号を選ぶ。

新規登録する	番号を選ぶ→● 新規に登録するときは[----------]が表示されている番号を選びます。
変更する	変更する番号を選ぶ→●→①
削除する	削除する番号を選ぶ→●→②

- 自動起動設定ソフト一覧画面が表示されます。

2 ソフトを選んで●を押し、起動日時を設定する。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは◇で移動できます。



スケジュール設定画面

毎日起動する	①→時刻を入力→●
曜日を指定して起動する	②→曜日を選ぶ●(くり返し可)→📷→時刻を入力→● ● すべての曜日を選択／解除する場合は、▼[全選択]／▼[全解除]を押します。
日付を指定して起動する	③→日付・時刻を入力→●

自動起動対応のソフトの設定を有効にする

1 スケジュール設定画面で④[時間間隔設定]を押す。

- 無効にするには、自動起動の設定を削除します。(「FOMA端末の設定でソフトの起動日時を設定する」の操作1「削除する」)
- 自動起動設定がないソフトの場合、[時間間隔設定]は選択できません。

お知らせ

- 自動起動できなかったときは、自動起動失敗履歴に記憶されます。

お知らせ

- 次の場合、ソフトは自動起動できません。
  - 電源が入っていないとき
  - 他の機能が起動している場合
  - iアプリが起動中の場合
  - 通話中
  - スケジュール、ToDoリストのアラーム時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - iアプリの機能別ロック中
- 同じ時刻に設定した以下の機能は次の優先順位で動作します。

	優先順位(高→低)
機能	自動電源OFF→自動電源ON→アラーム→ToDoリスト→iアプリ自動起動

- **設定リセット**を行うと、iアプリ自動起動失敗履歴は削除され、iアプリの自動起動設定は解除されます。
- 自動起動設定したソフトの通信設定が[起動ごとに確認]となっている場合、自動起動したときに通信するかどうかの確認画面が表示されます。そのまま操作せずに5秒間経過すると自動的に確認画面で[いいえ]を選択した設定で起動します。
- 同一ソフトの自動起動が前回の自動起動から10分未満の場合、起動できません。自動起動する間隔を10分以上に設定してください。自動起動失敗履歴には[起動エラー]と表示されます。

iアプリTo機能

サイトやiモードメールからiアプリを実行する

iアプリTo(iアプリ起動設定)が設定されている場合、サイト、インターネットホームページ、iモードメール、メッセージR／F、画面メモやトルカからiアプリを起動できます。

- 下記の方法でもiアプリを起動できます。
  - 赤外線通信中にiアプリ起動の信号を受信したとき
  - バーコードリーダーでiアプリの起動情報を読み取ったとき
  - FeliCa マークを読み取り装置(リーダー／ライター)にかざしてiアプリの起動情報を読み取ったとき
- iアプリToを許可するかどうかは、iアプリTo設定で設定します。

iアプリToでの起動を設定する ＜iアプリTo設定＞

お買い上げ時 許可する

iアプリToで起動させるかどうかを、ソフトごとに設定できます。

1 ソフト一覧画面(☞P.254)でソフトを選んで📷⑥[ソフト利用設定]を押す。

2 [iアプリTo設定]を選んで●を押し、①[許可する]を押す。

3 ▼[完了]を押す。

次ページへ続く▶▶

お知らせ

- 起動するソフトは、サイト、インターネットホームページ、ｉモードメール、メッセージR／F、画面メモやトルカによって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

サイトやｉモードメールからｉアプリを起動する＜ｉアプリTo機能＞

- ｉアプリTo設定が[許可しない]に設定されている場合、ｉアプリToでは起動できません。
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。
- フルブラウザでは起動できません。

1 サイト、インターネットホームページ、ｉモードメール、メッセージR／F、画面メモやトルカに表示されているｉアプリを選んで●を押し、[はい]を選んで●を押す。

- 起動を中止するときは、[ｉアプリ起動中]と表示されているときに☎を押し、[はい]を選んで●を押します。

お知らせ

- ｉアプリを終了すると、元のサイトやインターネットホームページ、受信メール表示画面、画面メモやトルカ詳細画面に戻ります。
- ｉアプリの起動指定に該当するソフトがない場合は、[指定されたソフトがありません]と表示されます。
- サイトから起動するソフトによっては、FOMA端末に保存できないソフトもあります。
- サイトによっては、指定のソフトがFOMA端末に保存されていないときや、FOMA端末に保存されているソフトのバージョンが古いときに、ソフトをダウンロードまたはバージョンアップできる場合があります。
- ソフトによってはダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトはダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト終了後に、保存可能なソフトについては保存するかどうかを選択できます。
- 実行中に通信設定(☞P.255)が必要な場合もあります。
- ｉモードメールからのｉアプリToは、IP(情報サービス提供者)からのｉモードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしではご利用になれません。

ｉアプリ待受設定

ｉアプリ待受画面を設定する

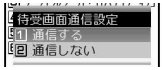
- 待受画面に設定したｉアプリは、CLRを押すと操作できるようになります。

ｉアプリ待受画面を設定する＜待受画面設定＞

- ｉアプリ待受設定されたソフトから通信するかどうかは、待受画面通信設定(☞P.263)で設定できます。

1 ソフト一覧画面(☞P.254)でソフトを選んで4[待受画面設定]を押し、[はい]を選んで●を押す。

- ｉアプリ待受画面に設定され、待受画面に戻ると、ソフトが起動します。
- 通信を利用するソフトのときは、右の画面が表示されます。[通信する]を選択すると通信が許可されます。
  [通信しない]を選択すると通信されず、情報提供ができない場合がありますので、ご注意ください。



お知らせ

- ｉアプリ待受画面に設定できるソフトは１つのみです。
- ｉアプリ待受画面に設定できないソフトもあります。
- ｉアプリ待受画面を設定している場合、待受画面にはｉアプリが表示されます。**待受画面設定**で設定した画像は表示されません。ｉアプリ待受画面設定を解除すると、待受画面設定で設定した画像が表示されます。
- 通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- ｉアプリ待受画面表示中に**オールロック**を設定すると、ｉアプリ画面は終了し、お買い上げ時に待受画面設定されている[待受画面１]の画像が表示されます。また、ｉアプリ待受画面表示中にｉアプリの**機能別ロック**を設定すると、ｉアプリ画面は終了し、待受画面設定で設定した待受画面が表示されます。オールロックまたはｉアプリの機能別ロックを解除するとｉアプリ待受画面が再表示されます。
- ｉアプリDXをｉアプリ待受画面に設定した場合、ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。
- ｉアプリ待受画面を設定しているときは、電源を入れるとｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。[はい]を選択するか、約５秒そのままにしておくと、ｉアプリ待受画面が起動します。[いいえ]を選択すると、通常の待受画面になり、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。ただし、**自動電源ON**で電源を入れたときは確認画面が表示されず、待受画面に戻ると起動します。
- ｉアプリ待受画面を設定すると、電池の利用可能時間が短くなります。

お知らせ

- 次の操作を行うと待受画面のｉアプリはいったん終了します。
  - ■ カメラ機能
  - ■ データBOX機能
  - ■ ｉモード機能
  - ■ メール機能
  - ■ テレビ電話
  - ■ 電話帳お預かりサービス
  - ■ SDオーディオ
  - ■ ｉアプリの設定の変更
  - ■ ｉモーションの再生
  - ■ トルカ機能
  - ■ 赤外線通信
  - ■ ｉアプリのソフトのダウンロード
  - ■ ｉアプリの起動
  - ■ ブックリーダー
  - ■ ドキュメントビューア
  - ■ PDF対応ビューア
  - ■ パターンデータの更新
  - ■ ソフトウェアの更新
  - ■ ｉC通信

セキュリティエラーについて

- ｉアプリ待受画面を設定している場合、ｉアプリが不正な動作をしようとしたり、ｉアプリのソフトが許可されている機能以外の動作をしようとしたときは、ｉアプリ待受画面は解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記録、表示されます。通常終了時には記録されません。待受画面に[セキュリティエラー]と表示されているときは、●を押すと、エラー履歴が表示されます。

関連操作

ｉアプリ待受画面から通信するかどうかを設定する<待受画面通信設定>

1 ソフト一覧画面で、待受画面に設定されているソフトを選ぶ▶📷5

2 1

メニューからｉアプリ待受画面を設定する<待受画面設定>

1 待受画面で●2113

2 ソフトを選ぶ▶●

- 待受画面に設定しているｉアプリを設定し直すとき：1[設定]▶ソフトを選ぶ▶●▶[はい]▶●
- 待受画面に設定しているｉアプリを終了するとき：2[終了]
- 待受画面に設定しているｉアプリを解除するとき：3[解除]

ｉアプリ待受画面を解除する

ｉアプリ待受画面を解除すると、待受画面設定で設定した画像が表示されます。

- ｉアプリ待受画面を終了しても、ｉアプリ待受画面設定は解除されず、待受画面に戻ったときにｉアプリ待受画面が再起動します。

1 ソフト一覧画面(☞P.254)で、待受画面に設定されているソフトを選んで📷4[待受画面設定]を押す。

2 [はい]を選んで●を押す。

ｉアプリを管理する

FOMA端末に保存したｉアプリのバージョンアップを行ったり、削除やソート、実行時のエラー情報やトレース情報の表示などを行うことができます。

- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合は、そのソフトの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細表示のみが可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP(情報サービス提供者)にお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP(情報サービス提供者)が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- このようにIP(情報サービス提供者)がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、ｉモードアイコンが点滅します。この際通信料はかかりません。
- ｉアプリをテレビ画面に表示することもできます。(☞P.352)

■ ｉアプリをバージョンアップする<バージョンアップ>

FOMA端末に保存済みのソフトがサイト側で新しいバージョンに更新されている場合に、バージョンアップできます。
ソフトによっては、実行時に更新情報を自動確認し、自動的にバージョンアップできるものもあります。

1 ソフト一覧画面(☞P.254)でソフトを選んで📷2[バージョンアップ]を押す。

2 [はい]を選んで●を押す。

- ソフトの情報が表示されたときは、●を押します。

お知らせ

- FOMA端末(本体)のメモリの空き容量がない場合は、バージョンアップできません。他のソフトまたはｉアプリとメモリエリアを共有している**データBOX**のデータを削除してください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ＩＣカードロック中、ダウンロードやバージョンアップができない場合があります。

関連操作

ソフト実行時に自動バージョンアップする

[最新ソフトにバージョンアップしますか？]の確認画面で、[はい]▶●

関連操作のお知らせ

- メールの**機能別ロック**中、メールフォルダ名を変更するメール連動型ソフトはバージョンアップできません。

■ ｉアプリを並べ替える<ソート>

お買い上げ時 ダウンロード(新→旧)

一覧の表示順番を、次のいずれかに変更できます。

ダウンロード(新→旧)	ダウンロードした日付の新しい順
ダウンロード(旧→新)	ダウンロードした日付の古い順
使用順	最近使用されたソフトの順
ソフトサイズ順	プログラムサイズの大きいもの順

1 ソフト一覧画面(☞P.254)で📷7[ソート]を押し、ソート方法を選んで●を押す。

■ エラー表示を確認する<エラー表示>

ソフト実行時のエラー情報([自動起動失敗履歴]、[待受画面エラー履歴]、[セキュリティエラー履歴])やトレース情報を確認できます。

1 待受画面で▮(🔧)を1秒以上押して6[エラー表示]を押す。

2 エラー履歴を選んで●を押す。

お知らせ

- **ｉアプリ待受画面**が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記録、表示されます。通常終了時には記録されません。

関連操作

トレース情報を表示する<トレース表示>

1 待受画面で▮(🔧)(1秒以上)▶7

2 確認を終わるときは●
- トレース情報を削除するとき:▮▶[はい]▶●

関連操作のお知らせ

- トレース情報がない場合は、[トレース情報がありません]と表示されます。

ｉアプリ作成者の方へ

- 作成したｉアプリが正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。
- トレースを採取するように設定されているソフトがないときは、トレース情報が表示されません。

■ ｉアプリを機能別ロックする<機能別ロック>

1 待受画面で▮(🔧)を1秒以上押して8[機能別ロック]を押し、端末暗証番号を入力して●を押す。

2 [ON]／[OFF]を選ぶ。

ロックする	1
ロックを解除する	2

■ ｉアプリを削除する<削除>

1 ソフト一覧画面(☞P.254)で、ソフトを選んで📷3[削除]を押す。

2 削除方法を選ぶ。

1件削除する	1→[はい]→●
複数をまとめて削除する	2→ソフトを選ぶ●(くり返し可)→📷→[はい]→● ● すべてを選択／解除する場合は、▮[全選択]／▮[全解除]を押します。
すべてを削除する	3→端末暗証番号を入力→●→[はい]→●

お知らせ

- メール連動型ｉアプリのソフトを削除する場合、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかを選択できます。ただし、メールフォルダ内に保護されているｉモードメールがある場合、ソフト、フォルダは削除できません。
- 削除するソフトのｉアプリ使用データがmicroSDメモリーカードに保存されている場合、ｉアプリ使用データを同時に削除するかどうかを選択できます。
- フォルダを残してメール連動型ｉアプリのソフトを削除した場合、フォルダ内のｉモードメールを確認するときは、**受信BOX**、**送信BOX**、**未送信BOX**で📷を押し、[ｉモードメール閲覧]を選択します。メール連動型ｉアプリを起動せずにフォルダ内のｉモードメールを表示できます。

おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトを削除するとき

- ソフトによっては、お客様がソフトを起動してＩＣカード内のデータを削除しないと、ソフトを削除できないものがあります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。
- **ＩＣカードロック**中、おサイフケータイ対応ｉアプリのソフトは削除できない場合があります。

メール連動型ｉアプリを含むソフトを全件削除するとき

- フォルダ内に保護されたｉモードメールがあるとき、ソフトやフォルダは削除できません。

ｉアプリ使用データ(コンテンツ移行対応)

microSDメモリーカード内のｉアプリ使用データを表示する

- ｉアプリ使用データフォルダを削除したり、選択したフォルダの詳細情報を表示することができます。
- 詳細情報には、利用可能ソフト／CP名、フォルダ利用可／不可、利用不可原因が表示されます。
- フォルダの利用不可原因は次のとおりです。
  - ■ ソフト動作制限[あり]:保存されたデータを使用するソフトが無いため利用できません。
  - ■ FOMAカード動作制限[あり]:保存したときと異なるFOMAカードが挿入されているため利用できません。
  - ■ 機種制限[あり]:保存したときと異なる機種のため利用できません。
  - ■ シリーズ制限[あり]:ソフトのシリーズが異なるため利用できません。

1 待受画面で▮(🔧)を1秒以上押して5[iアプリ使用データ]を押す。

フォルダを1件削除する	フォルダを選ぶ→📷→[はい]→●
情報を表示する	▮ ● 確認を終わるときは●を押します。

お知らせ

- 同時に起動している他の機能がmicroSDメモリーカードを使用している場合は、iアプリ使用データのフォルダを表示できません。他の機能を終了してから操作してください。
- サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているiモーションを、microSDメモリーカードに保存できます。(☞P.320)

iアプリのさまざまな機能を利用する

- 利用する機能によっては、同時に起動している他の機能を終了してから利用できるものがあります。

iアプリからサイトを表示する

- サイト表示に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- URLが半角の英数字や記号で255文字を超えるサイトは表示できません。

1 ソフト実行中に**URL**の項目を選んで●を押し、[はい]を選んで●を押す。
- サイトやインターネットホームページを表示する方法は、ソフトによって異なります。

iアプリから電話をかける

実行中のソフトから、音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用することができます。

- 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用することに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- ダイヤル発信制限中、セルフモード中は、電話をかけることができません。

1 ソフト実行中に電話番号の項目を選んで●を押し、[はい]を選んで●を押す。
- 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用する方法は、ソフトによって異なります。
- 音声電話、テレビ電話、プッシュトークを利用する電話番号が表示されます。

2 電話をかける。

音声電話	📞／●
テレビ電話	▮
プッシュトーク	✉／✉(🎙)

iアプリからカメラ機能を利用する

- iアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はiアプリの一部として保存、利用されます。

1 ソフト実行中にカメラの起動項目を選んで●を押す。
- カメラモード(静止画撮影画面)になります。明るさを調整したり、セルフタイマー、ズームを利用できます。
- ソフトから[画像サイズ]や[連続撮影]、[画質]、[フレーム]などの設定ができるものもあります。設定できる項目や設定方法、カメラ起動方法はソフトによって異なります。

2 ●[📷]を押す。
- 撮影した画像を保存するときは、●を押します。

お知らせ

- ソフトによってはiアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどを、自動的にインターネットを経由して送信することがあります。iアプリで利用する画像とは、実行中のiアプリが、カメラ機能を起動して撮影した画像、**データBOX**のマイピクチャから選択した画像および赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。

iアプリからバーコードリーダーを利用する

1 ソフト実行中にバーコードリーダーの起動項目を選んで●を押す。
- カメラモード(バーコードリーダー)になります。
- 画面が暗い場合は▮[ライト]を押し、ピクチャーライトを点灯してください。
- バーコードリーダーの起動方法は、ソフトによって異なります。

2 バーコード(**JAN**コード、**QR**コード)が表示されるようにカメラを合わせ、●[読取]を押す。
- バーコード(JANコード、QRコード)が撮影されます。

お知らせ

- 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

iアプリからトルカを保存する

1 ソフト実行中にトルカの保存項目を選んで●を押す。

- トルカの登録方法は、ソフトによって異なります。

2 プレビュー表示または保存を行う。

トルカをプレビュー表示する	[プレビュー]→●
新規保存する	[新規保存]→●→フォルダを選ぶ→●
上書き保存する	[上書き保存]→●→フォルダを選ぶ→●→データを選ぶ→●→▮

iアプリからアラームを登録する

- [時刻入力]と[繰り返し設定]は、iアプリにより入力されています。

1 ソフト実行中にアラーム登録項目を選んで●を押し、●[OK]を押す。

2 登録番号を押し、アラームを登録する。

- 詳しくは、P.367の操作2～4を参照してください。

iアプリから位置情報を利用する

1 ソフト実行中に位置履歴の項目を選んで●を押し、[はい]を選んで●を押す。

2 位置履歴一覧から利用する位置情報を選んで●を押す。

お知らせ

- 電話帳を参照できるiアプリの場合、登録されている位置情報を利用できます。
- お買い上げ時に登録されている「NAVITIME for SH」では利用できません。

iアプリから赤外線通信機能を利用する

- セルフモード中は、赤外線通信機能(☞P.331)を利用することはできません。

1 ソフト実行中に赤外線通信を起動し、[はい]を選んで●を押す。

- 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。
- 赤外線通信を中止するときは、◙を押します。